

(精神) 訪問看護計画書

患 者 氏 名	在家 養子			生年月日	明治 大正 昭和 平成 昭和8年4月3日 (73) 歳				
要介護認定の状況	自立 要支援 要介護 (1 2 3 4 5)								
住 所	大分市療後2525								
看護・リハビリテーションの目標 (特記項目：寝たきり予防、褥創予防、廃用症候群予防、脱水予防、転倒・骨折予防、誤嚥予防、失禁予防、病状の悪化予防) 清潔を保持し、感染予防に努める。また、便秘や不眠傾向などが見られており、心身の状態を調整する事が必要。介護者の状態に注意し、本人の訴えを良く聞くように心がける。									
年月日		問 題 点	解 決 策	評価	評価日 H18. 2. 10				
H19. 1. 5	#1	便秘傾向にある	ポータブルでの腹圧介助。便秘日数により浣腸の施行	便秘が軽減し、下剤での管理が可能になった					
H19. 1. 5	#2	殿部の皮膚が弱く泄物で創を生じやすい	訪問時に清拭と創の状況により処置を行う	引続き創が出来やすく管理が必要					
H19. 1. 5	#3	不眠の日が3日に1日程ある	睡眠状況のチェックと日光浴の介助	不眠が軽減し、月の回数が減少した					
H19. 1. 5	#4	着衣が汚染しやすい	必要に応じ更衣の介助	引続き支援が必要					
H19. 1. 5	#5	介護者と喧嘩になりやすい様子	訴えをできるだけ聞くように努める	来訪を楽しみにされているとの事					
H19. 1. 5	#6	リハビリテーションへの意欲が高い	歩行器を用いて歩行訓練を行う	運歩がスムーズにできるようになって来た					
備 考 #5については、最近顕著な傾向にあり、1/5付で計画に追加した。									

上記の訪問看護計画書に基づき指定（老人）訪問看護を実施いたします。

平成 19 年 1 月 5 日

訪問看護ステーション☆☆☆

管 理 者 氏 名 : 府長 優子 印

利用者氏名 在家 養子 在家 印

代理人氏名 在家 留美 在家 印

訪問看護記録書Ⅱ

患 者 氏 名	在家 養子			看護 美子	看護 那須 郁恵 (実地指導中)
訪 問 年 月 日	平成 19 年 1 月 15 日 月 曜日			14 時 00 分 ~ 15 時 30 分	
患者の状態 (病状) バイタルサイン 体温 : 36.4 ℃ 脈拍 : 72 /分 呼吸 : 26 /分 血圧 : 100 / 60 mmHg 体調は良好の様子で、眠そうな様子も、興奮した様子も特にはない。 日光浴の折りに熱心に昔の話をされ、嬉しそうにされていた。					
実施した看護内容 便秘4日目との事で、GE120ml用いて浣腸後、ポータブル便器で腹圧介助を行う。上下とも着衣が汚染していたため更衣も併せて施行。殿部状態は仙骨部に1×1cm大の表皮剥離あり、清拭後指示の軟膏を塗布。排便後、本人の強い希望で車椅子にて庭に出る。少し歩きたいとの事で、歩行器使い歩行もされた。その他日光浴中、小さい頃の話がたくさんされた。					
実施したリハビリテーションの内容 歩行器による歩行訓練 (庭前の道路で10m前後の往復)					
その他、指導・相談等 ☐ 療養生活支援の方法 (食事・排泄・清潔保持・睡眠・衣生活) 不眠傾向にあり、睡眠薬が効かない様子。掛かりつけ医師に状態を伝える事を約す ☐ 病状変化の予測と悪化予防の方法について 12/25の血液検査の結果を手渡して、説明する ☐ 医療的な処置の方法 (医療機器の使い方等) 便秘傾向が強く、浣腸の仕方を、一緒に行って説明した ☐ 食事及び栄養の支援 夜間の水分摂取について介護者より相談あり。様子をみながら、200ml程、枕元に用意、を相談す。 ☐ 服薬指導 睡眠薬を早い時間に服用していた様子。8~9時頃の服用に変更するよう、本人にも説明した					
備 考 実地指導について 本日、那須ナースは実地指導3日目で、在家さん宅は2回目。清拭用具もテキパキと用意され、また庭先では在家さんが一生懸命話されるのを熱心に聴いていた。 訪問途中、今までの訪問看護の経過について質問があったので説明をした。(看護美子)					
介護状況・介護者の心身の健康状態 何日かご本人の不眠が続いたため、疲れている様子が見られた。					
次回の訪問予定日	平成 19 年 1 月 18 日 木 曜日 14 時 00 分 ~ 15 時 30 分				

